



穴をあけて綴じてください



木葉の譲^{ゆずり}のめでたい脇左殿拝
—撮影・吉田恒夫氏—

二十一世紀に希望を!!

会長 森田賢治

二十世紀は栄光と悔恨の世紀といわれるが、世界はなお繁栄と貧困、平和と戦乱の中に新世紀を迎えようとしている。わが国の百年間を見ても有為転変極まりなく、今も景気不況、政治不信、人心不安の只中にある。

しかし、われわれは世紀末の暗い現象に、たじろがない。未来に失望してはいない。物質文明と精神文化にアンバランスがあれば、英知をもつて立ち向かおう。六郷神社崇敬会創立の精神もここにあり、と再認識したいと思う。

初詣

崇敬会会員の昇殿参拝

平成13年1月3日

午前10時30分(第1回)

午前11時30分(第2回)

1月3日の午前10時30分と11時30分の2回、崇敬会会員とその家族にかぎり、昇殿参拝の式をおこない、神社から神酒と特別な御礼が授与されます。

崇敬会では、新春記帳所を設けますので、ご記帳のうえ、御供物をお受け取りください。なお境内には、甘酒進上の席も用意いたします。多数ご参拝ください。

六郷神社境内の石造物あんない

その3

会報15号・17号の2回にわたって、境内の主な石造物を紹介しましたが、本号ではさらに表参道神門付近の石造物を取り挙げたいと思います。
(平野順治)

○表参道の神橋(太鼓橋)

みなものよりと
源頼朝の家臣・梶原景時が寄進したものと伝えられる。伊豆石の太鼓橋で、長さ二・八一メートル、幅二・二〇メートル。



欄干の上には大小のまるい凹みがいくつも残っている

万延元年(一八六〇)の「八幡塚村絵図」を見ると、六郷神社の境内は楕円形に描かれ、周囲にぐるりと濠をめぐらしている。昔はこの構濠に六郷用水の支流である五反田堀の水が流入していた。そのため水はきれいで、大正末年まで少年たちは夏休みになると、太鼓橋の上から飛び込んで水浴に興じた、といわれている。

社殿正面の濠幅は約三・三五メートル、太鼓橋はここに架っていたが、戦後、土砂が堆積して濠の水の汚染が進み、カヤハエの発生など衛生上の問題もあって埋め立てられた。昭和50年代のことである。

なお、現在の位置に「神橋」として移されたのは、昭和62年の鎮座九百三十年大祭の記念事業においてである。

○表参道の社号標

(正面)

郷 六郷神社

明治神宮宮司海軍大将有馬良橋謹書

(背面)

昭和十年六月竣工
奉獻者 羽田町西町

故六郷神社参与 中山慶之介
継亡父遺志 氏子総代 中山福太郎建之

石工 田川次郎吉
花崗石、高さ一丈三尺、一尺七寸角、台石幅約六尺五寸。昭和十年六月十三日奉獻式。工費二百二十円。中山慶之介は昭和七年五月二十四日没。七十七歳。後嗣の福太郎は昭和四十四年一月十日没。八十八歳。当時は羽田一円も六郷神社の氏子であった。

○表参道の大鳥居

(右柱石正面)

奉

(同背面)

鈴木組 土木 建築 鈴木梅蔵

(左柱石正面)

献

(同背面)

昭和十二年五月建之

稲田産花崗石造り、高さ一丈九尺四寸、柱石直径一尺六寸。明神型。蒲田区東六郷四丁目九番地の鈴木梅蔵が、先代の遺志を継いで寄進。工費一千五百五十円。伯爵廣橋眞光が「六郷神社」と揮毫した石額は、現在とりはずされている。

○表参道の石燈籠

(左台石背面中段)

本組合事業
完成ヲ記念
スル為メ之
ヲ奉獻ス

昭和十年六月吉日

六郷堤外耕地整理組合

岡崎市

鈴忠石工場 作

(右台石背面中段)

組合長 小泉甚蔵

組合副長 小泉善三郎

同 吉田藤吉

拝殿のすぐ左脇に、太い幹の「譲葉」の木がある。その梢は拝殿の高さを越えるほどである。

譲葉という名の由来は、若葉が伸びると入れ替わるように古い葉が落ちるので、親が成長した子に跡を譲る世代交替にたとえて、この名になったといわれる。

このおめでたい譲葉は、古くから家が代々続いて栄えるようにとの願いをこめて、お正月の飾りに使われてきた。

たまたま手に入れた『京の雅みやび冷泉家れいぜいけの

評議員

瀬田佐太郎

同 森 新太郎

同 竹内五郎

同 川田仙之助

同 川田源蔵

同 石渡百太郎

同 平林平蔵

同 荒 清

同 組合会議員 小泉喜太郎

同 石渡義雄

同 小泉由雄

同 大山傳五郎

同 技術員 鶴岡仙之助

六郷堤外耕地整理組合は大正12年の設立。

現在の堤防ができて堤内地となった、旧堤外

(バス通りから川寄りの地)の整理を行った。

年中行事」の中に、お正月の儀式の様子が書いてあった。暮れの二十八日に一斗五

譲葉について

高橋ハルヨ

升の餅を搗き、春日、住吉、柿本、玉津島、多武峯の五社、それに四大祖先の藤原俊成、

○合祀天祖神社の碑

(正面)

合祀天祖神社

侯爵西郷從徳書

(背面)

六郷神社参与 瀬田佐太郎

紀元二千六百一年建之

花崗石、高さ二〇六センチ、幅二五・五センチ、台石幅約一三〇センチ。合祀の天祖神社は現在、氷川神社と相殿の境内社に祀られている。瀬田佐太郎は大正13年6月から8月まで六郷村長、昭和4年4月から5年8月まで六郷町長を務めたほか、各要職を歴任。昭和6年2月11日、東京府知事推薦の六郷神社参与となる。昭和22年3月11日没。81歳。

定家、為家、為相の霊に供える。白木の三方の上に譲葉を一枚敷き、一升どりの鏡餅を置く。その上にまた譲葉を敷いて葉付きの橋の実三個と塩鯛一尾を並べる、といった供え方である。

藤原家の四大歌人はあまりに有名であるが、冷泉家は為相が起こし、縁起のいい譲葉でゆずりゆずって、今も京都に続いている。ちなみに『十六夜日記』を書いた阿仏尼は為相の母で、為相と共に鎌倉で暮らした。二人の墓は北鎌倉の浄光明寺にある。

カタカナ語の氾濫 宮崎 豊

最近では新聞・雑誌・テレビ・ラジオで、カタカナ語を見たり聞いたりすることが多い。パソコンなど専門語として使われているのは、さておき、一般的な社会用語とくに福祉・医療などの分野では、わかりにくく困ったことである。例えば「インフォームド・コンセント」「バリアフリー」。前者は加療解説と患者同意、後者は高齢者や障害者に配慮して、建築設計に段差や仕切りをなくすなど、障壁のない意。むずかしいであろうが、語のどちらが理解しやすいかを

○計画スキーム	94%
○合意コンセンサス	87%
○必要性	63%
○展望ビジョン	61%
○危険リスク	56%
○催しイベント	33%
○利点メリット	31%

○印は多い数字

示した（'99文化庁）。

日常見なれているカタカナ語であるが、日本語に比べてその浸透度はまだまだである。

'98年10月、大田区役所の東側に大きなビルが誕生した。入口の左端に、建物の名称を示す看板が3枚設けられている。1枚目には「アロマ・スクエア ニッセイ・アロマ・スクエア/アロマ・プラザ/アプリコ」と、英語で記されている。中央の2枚目に「ガイド・マップ」として、やとそれぞれの名称がカタカナ語で示してある。誰に読ませるのであるか。外国にいるような錯覚を覚える。

ちなみに「アプリコ」とは、〈アイト・プリイズム・イン・ザ・シテイ・オブ・オオタ〉という英語の頭文字を採った造語で、さまざまな文化・芸術がブリズムを通して多彩に花開き、発信していく「活動の拠点」を意味するという。ああ!!

ふと、後ろの建物の看板を見て、ほっとした。『居酒屋 甚平』まぎれもなく日本である。

◆七草流鏑馬祭

東京都の無形民俗文化財に指定されている子供流鏑馬は、1月7日午後1時より男の児の開運・健康・出世を祈って、境内の射場で行われます。雨天決行。

◆第24回六郷のどんと焼き

六郷橋の下流300メートルの河川敷で、1月7日午後1時30分点火。会場では焼き芋・甘酒・お汁粉などが振る舞われます。主催・六郷の昔を語る会、後援・大田区教育委員会。雨天決行。

◆新入会員紹介

仲四・山崎勝広

◆平成12年度年会費

納入のお願い
年会費（平成12年4月1日より13年3月31日までの分）未納の方は、お手数でも同封の振替用紙でお納めください。社務所へお届けくださっても結構です。

発行 六郷神社崇敬会

〒144-0046 大田区東六郷三十一十八

六郷神社社務所内

電話 〇三三三三三二二八八九

振替 〇〇一九〇一六一二三五五三

編集 平野順治